

自由研究発表 プログラム

※共同研究報告の場合は筆頭演者の氏名、所属のみ記載しています。

9月5日（日）午前

分科会 A

9:00 ~ 9:40	利用者支援事業におけるニーズアセスメントツールの活用上の問題点に関する質的分析 —現場におけるツール活用の定着に向けて— ○榎本祐子（びわこ学院大学教育福祉学部）
9:40 ~10:20	保育現場における「気づき」の蓄積と可視化による効果—アセスメントツールの活用実践から— ○灰谷和代（東北公益文科大学）
10:20~11:00	子ども家庭福祉を担う支援者への支援について—保育者を対象とする体罰および子どもの権利に関する現状アセスメントからの提言 ○田沢茂之（NPO 法人子どもすこやかサポートネット）
11:00~11:40	「体罰等によらない子育ての推進に向けた実態把握に関する調査」から親支援と子育ての学びに関する提言 高祖常子（認定 NPO 法人児童虐待防止全国ネットワーク）

分科会 B

9:00 ~ 9:40	児童養護施設の規模及び小規模化の有無、所在地の里親委託率と里親からの措置変更児への支援上の課題との関連性 ○姜民護（同志社大学社会学部社会福祉学科）
9:40 ~10:20	里親によるショートステイの市町村・児童家庭支援センター調査 ○永井里美（NPO 法人 SOS 子どもの村 JAPAN）
10:20~11:00	里子のレジリエンス—里子 - 里親関係の障壁要因と促進要因— ○大澤理恵（星槎大学大学院教育学研究科）
11:00~11:40	LGBTQ と里親の家族の形成—米国ハワイ州でのインタビュー調査より— ○上野善子（福山平成大学）

分科会 C

9:00 ~ 9:40	地域の「居場所」を通して実践する子ども虐待防止—世代間交流からみる在宅支援— ○加藤洋子（聖心女子大学現代教養学部教育学科）
9:40 ~10:20	新型コロナウイルス感染症流行下における子ども食堂 ○新保幸男（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部）
10:20~11:00	児童館における子どもへの継続的支援活動の意義とその有用性 ○小山顕（関西学院 聖和短期大学）
11:00~11:40	SDGs を意識した乳幼児期からの暮らし方の工夫の一考察～一人ひとり が取り組める視点を中心に～ ○呉屋奈都子（和光認定こども園）

9月5日（日）午後

分科会 D

13:00～13:40	社会的養護の子ども達におけるライフストーリーワークの実践とそのタイミング ○河村浩世（京都芸術大学こども芸術学科）
13:40～14:20	当事者ユースが必要と感じる移行期の子どもたちへの支援 —社会的養護で暮らす子どもに向けた絵本の作成をとおして— ○久保樹里（花園大学社会福祉学部）
14:20～15:00	障害児入所施設の運営指針（案）の作成に関する調査研究 ○玉山和裕（みずほりサーチ&テクノロジーズ株式会社 社会政策コンサルティング部）
15:00～15:40	フィンランドのケア労働者養成にみる保育の専門性 ○井上清美（東京家政学院大学）

分科会 E

13:00～13:40	里親不調によって児童養護施設に措置変更された子どもと小児期逆境体験（ACEs）および子どもの強さと困難さ（SDQ）との関連についての検討—ACEs および SDQ 質問紙を使用した実証的研究— ○野口啓示（福山市立大学教育学部）
13:40～14:20	里親不調により児童養護施設に措置変更された子どもの状況と well-being の関連性 ○高橋順一（地域ケア経営マネジメント研究所）
14:20～15:00	委託児童と実子を養育する里親の意識 ○山本真知子（大妻女子大学人間関係学部）